



元気な農業をめざして

空き家の適正な管理をお願いします
平成二十三年度 最上広域決算の概要
市のホームページをリニューアルしました



■市の木[モミ]

昭和59年の市制施行を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。



元気な

農業をめざして

平成23年度から、市政運営の基本指針としている「新庄市まちづくり総合計画」。
農業についても、生産力の向上や担い手の育成などについて重点的に施策を展開しています。
安定した農業経営と農業・農村の活性化、農林業環境の適正な保全を図り、
農業所得の向上とやりがいのある農林業の確立の実現を目指します。

■新庄市の農業 その現状と課題

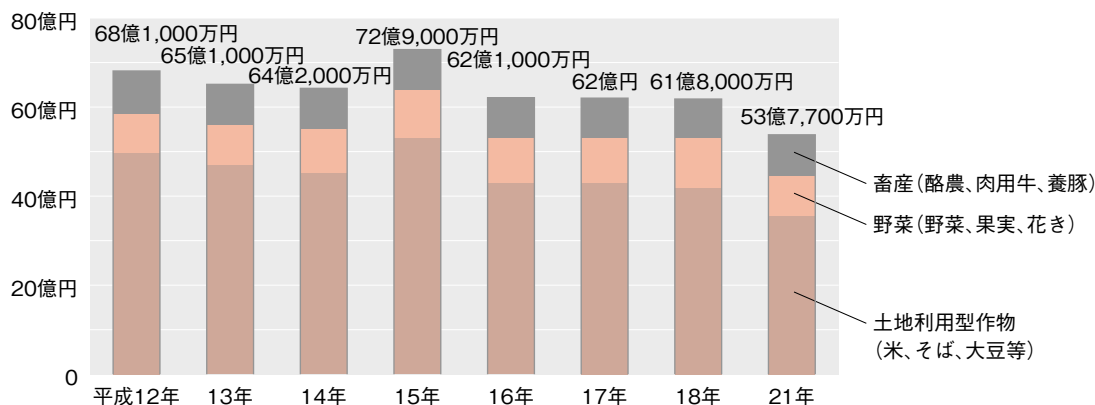
新庄市における農業産出額は五十三億七千七百万円(平成二十一年)となっています。近年の産出額の推移をみると減少傾向にあり、特に水稲など土地利用型作物での減少が大きくなっています。農地の集積や作業受委託などにより、規模拡大を進め作業効率の向上などを図っていますが、農作物の価格低迷や国内外での競争力激化、資材費の高騰などの影響を受け、減少する結果となっています。

作物別の産出額は、土地利用型作物といわれる米、ソバ、大豆などが約三十六億円、野菜が約五億円、花きが約四億円、畜産が約九億円となっています。

特に野菜ではニラが約二億円、ネギと山菜がそれぞれ一億円、花きではトルコギキョウが約二億円と額を伸ばしています。

一方、農業を支える農業従事者は、高齢化や後継者不足などにより減少し、いわゆる「人と農地の問題」が当市においても深刻な状況となっています。農業就業人口は十年前(平成十二年)と比べると約四百人近く減

農業産出額

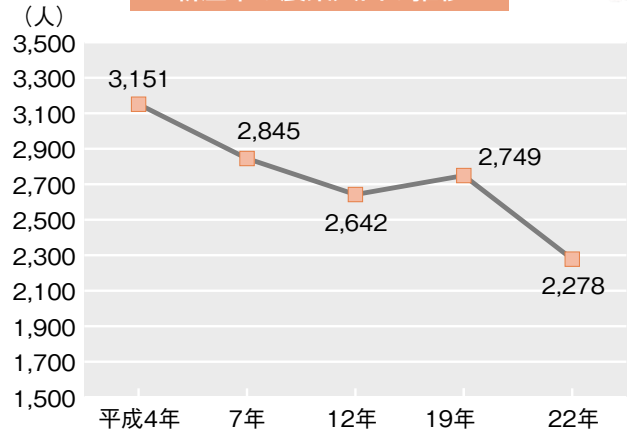


少し、二千二百七十八人(平成二十二年)となりました。その年齢構成は六十歳以上の農業者が六十四%、四十歳以上五十九歳以下が二十九%、四十歳未満の後継者はわずか七%となっています。

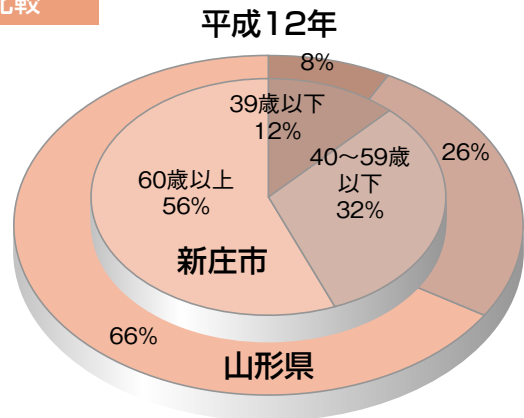
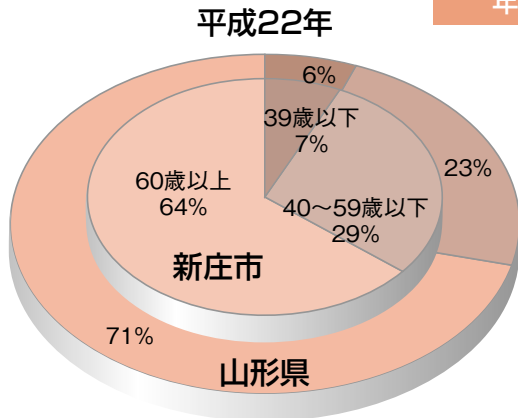
雇用・交流拡大プロジェクト



新庄市の農業人口の推移



年代別割合比較



本市の農業は水稲に大きく依存していますが、人口減少などに伴い主食用米の需要は減少しています。このため、収益性の高い農産物を中心に生産振興を図りながら、畜産や園芸との複合経営による所得の確保を目指しています。

現在、農産物の高付加価値化に取り組むための漬物や乾燥野菜の加工施設整備、田植え・溝きり・除草が一台で行える高機能農業機械（乗用ビークル）、山林資源活用（シマ）の効率化を図るシヨベル（ベースマシーン）、高性能コンバインなどの導入も進めており、意欲ある農業者を支援しています。

園芸部門では、経営の複合化や園芸作物の地域ブランド確立のため、パイプハウスや管理機械を整備し、ニラ、ネギ、ウリ等の戦略品目・特定振興品目の作付け拡大

農業生産力と経営の強化

こんな取り組みを進めています

を図っています。さらに、花き生産者が共同で取り組む新品種の導入を支援しています。

畜産部門では、畜産経営の安定、ブランド化を図るため、畜舎の整備や自給飼料確保の支援を行うとともに、優良な雌牛を貸し付けし経営の安定や規模拡大を進めています。

また、生産基盤の整備として、本合海上野地区では、老朽化した揚水機場の改修及び基盤整備、鳥越休場地地区では、漏水が見られる堤沢ため池の改修工事、萩野塩野地区においては、土側溝の改良工事などを県とともに実施しています。

今後は農業者自らが加工（第二次産業）や流通・販売（第三次産業）に主体的に取り組む「六次産業化」を促進し、農業所得の向上につなげていきます。



▲全自動ネギ収穫機で作業の効率化を図る。

雇用・交流拡大プロジェクト

■地域の農業力の向上のために 「人・農地プラン」の作成

農業就業人口の減少や後継者不足は、不作付け地の増加や地域農業の衰退などにつながる恐れがあります。

新庄市の農業が活力ある産業として発展するには、力強い農業構造の実現を目指していく必要があります。地域の中核となる担い手の確保や、農業ができなくなった方の農地を、地域内にいる農業を担う方に集積していくことが重要となります。

このため新庄市では、持続可能な農業を展開できるよう農業者、JA、農業委員会、土地改良区と検討を重ね、中心となる農業者（認定農業者や生産組織など）へどう



▲「人・農地プラン」作成のため地域ごとに説明会を実施。

やって農地を集めていくかなど、将来の地域農業のあり方を定めた「人・農地プラン」を作成し、問題解決を図っています。

また、青年就農者の意欲の喚起と就農後の定着、青年就農者の増大を図るため、青年就農交付金制度を活用し、新卒者や他産業からの就農の促進、中核となる担い手農家の育成を進めています。

■意欲ある農業者の育成と確保 「勇気塾」の再開

平成七年度から十六年度までの十年間実施し、三十九人の卒業生を輩出してトルコギきょう等の産地形成にも大きく貢献してきた若者園芸実践塾。担い手育成の一環として平成二十二年度に「勇気塾」として再開しました。



▲出荷に向けたアスパラガスの選別作業（平成23年度「勇気塾」）

図1 担い手数と集積農地の状況

平成23年度3月現在		平成24年度3月現在	
担い手数	耕作面積	担い手数	耕作面積
362経営体 (認定農業者296人 生産組織66組織)	2,488ha (シェア48%)	358経営体 (認定農業者290人 生産組織68組織)	2,743ha (シェア56%)

図2 卒業生の就農動向

※就農者数は現在就農している人数です。

	卒業生数	就農者数
第1期(H7～16)	39人	31人
第2期(H22～23)	6人	6人

「勇気塾」では、生産から出荷まで、すべて自分たちで行うことによつて、施設園芸を実践的に学習できます。就農後は、園芸作物を中心とした経営の複合化に取り組めるような研修内容になっていて、塾では現在、花き栽培や夏秋いちご（サマーティアラ）、葉菜類などの栽培に取り組んでいます。

今後は、安定した新規就農者育成事業となるよう、農業情勢を的確に捉え、地域や関係機関との連携などを十分に図りながら、塾のより良い運営や研修内容の充実を目指します。

消費者との 交流の拡大

～産直という
取り組み～

食の安全・安心が求められる中、農業者においても、消費者ニーズにかなった生産体制を整え、信頼を得ながら、消費者との交流を拡大し、販路を広げていく必要があります。そのような状況で、消費者の注目を集めている取り組みのひとつに産地直売があります。

産直施設「産直まゆの郷」や『JA産直いなふね』では、地元産の農産物・加工品を常時販売しています。市内の生産者団体においても、商店街やスーパーマーケットなどで定期的に産直市を開催するなど、消費者と交流を行いながら、地産地消の推進のために大きな役割を果たしています。

平成十四年九月に営業を開始し、今年十周年を迎えた「産直まゆの郷」を訪ねてみると、会員が持ち込んだ新鮮な野菜や花、加



トルコぎきょう栽培に 取り組んでいます！

三原 誠さん(小泉)

三原さんは、ハウス6棟に約4万本のトルコぎきょうを栽培しています。県立農業大学校で花きについて学び、平成9～10年度の2年にわたり、若者園芸実践塾で園芸の技術や農業経営について実践的な研修を受けました。

学生時代の研修で初めて目にしたトルコぎきょうに魅力を感じたことをきっかけに、栽培に取り組み13年目を迎えます。トルコぎきょうは、2月から時期をずらして種をまき、最後の出荷が終わるのは11月。その間は、水やりや温度管理など気が抜けない作業が続きます。奥様も育児や家事をしながら手伝い、出荷の準備は深夜まで続きます。

トルコぎきょうは高温の影響を受けやすく、今年は長引いた猛暑の影響で、栽培には厳しい年だったそうです。その中で、9月に行われた「新庄・もがみフラワーフェスティバル2012」で、三原さんのトルコぎきょう「ボヤージュブルー」が、200点近い出品作から、最高賞の山形県知事賞を受賞しました。

三原さんは、仲間たちとの交流を励みに、また次の若い生産者が育ち、新たな仲間が増えることを期待しているそうです。若手農業者として、三原さんの今後ますますの活躍が期待されます。

■ やりがいある農業の確立

これまで述べてきた「意欲ある農業者の育成支援、生産基盤の整備、交流拡大による農村コミュニティの活性化」などは、新庄市の農業を、やりがいのある産業として確立するために欠かせないものです。めまぐるしく変化する農業情勢や、環境の変化に的確に対応した農業施策を積極的に推進し、農業者や関連団体とともに、元気の農業を目指します。

工品などが販売されていました。精算所の後ろには、会員の顔写真を掲示し、商品には生産者の名前が明記され、消費者に安心感を与えます。

『産直まゆの郷』はエコロジーガーデンの一角にあります。生産者である会員は約百二十人。豊富な農作物を揃え、季節ごとのイベントを行って、特に休日は大勢の買い物客でにぎわいます。

- ①店舗は昔の農機具庫を改装。
- ②新鮮な野菜が並んだ店内。
- ③トルコぎきょうなどの花も並ぶ。



空き家の適正な管理をお願いします

近年、適正に管理されていない空き家が増加し、全国的な問題となっています。

本市でも2年続いた豪雪などの影響で、屋根からの落雪被害がでたり、強風によりトタンが飛散するなど、近隣に被害を及ぼす事例が出ています。

	空き家 件数	課題ごとの件数(1件で重複あり)				
		倒壊の おそれがある	一部破損	充分 活用可	周囲への 雪害心配	周囲への 風害心配
旧新庄町地区	241	7	19	19	17	3
稲舟地区	62	7	2	6	4	0
萩野地区	36	3	6	4	4	4
八向地区	42	6	9	3	3	0
合計	381	23	36	32	28	7

※ 平成24年7月～8月の市内214町内(地区)の区長と市地域担当者との集計によるものです。
※ この調査での空き家は、住宅のほか管理が不十分な工場・空き店舗も含まれています。
※ 空き家件数は1世帯単位です。車庫・小屋・蔵といった付属的な建物がある場合も1件としています。
※ 今後の2次調査などによって、数値に変動が予想されます。

■ 空き家の現状把握

今年の七月から八月にかけて、全区長の協力により、市内全域の「空き家現状把握調査」を実施しました。その結果、市内全域で三百八十一件の空き家があることが判明しました。

現在、この結果をもとに、個別に現地の外観調査(二次調査)を行っています。今後、この二次調査により空き家の老朽度や周囲に及ぼす危険度を判定することになっています。

■ 空き家の管理は所有者の責任

所有する土地、建物が原因で他に被害を与えた場合は、その所有者や管理者、占有者が責任を負うことが法律で定められていて、何らかの問題が発生した場合には、当事者間での解決が基本となります。

人命に関わることになっては取り返しがつきません。所有者は、隣の家屋や交通への支障がないように十分注意することが必要です。

■ 近所への連絡が大切

さまざまな事情により空き家になってしまいう場合、その所有者や関係者は近隣の方々・地元町内会などに連絡先を伝え、問題が生じた場合は、すぐに対処できるようにしておくことが必要です。

■ 適正な管理を心がけましょう

所有者などによって適正に管理されている場合は、問題ありません。実際、空き家の所有者の中には、定期的に管理に訪れている方も多くいます。

■ 空き家の将来を考えましょう

現在、きちんと管理されている空き家も、将来にわたって管理す

今後の市の方針

空き家によっては、所有者の居場所がわからず、管理が不十分なため周囲への危険性が大きいものがあります。

市は私有財産には原則関与できませんが、緊急かつやむを得ない場合の対応について慎重に検討中です。

お願い

今回、区長へお願いした空き家調査について、調査漏れや新たな空き家が出現した場合もあると思います。

これらについては、下記までご連絡ください。

総合政策課企画政策室 ☎内線234・236

ることは困難です。空き家となっても思い出のある旧家を手放すことができずにいるケースもありますが、数年後のことも考え、貸家などでの活用も検討することが必要です。

また、仏壇があるため処分に困っている場合などは、菩提寺等に相談することで多くは解決しています。

所有者と地域のみなさんが協力して、安心して暮らせる環境を守っていくことが大切です。

平成
23年度

最上広域市町村圏事務組合決算の概要

◎最上広域市町村圏事務組合 ☎22-2674

最上広域市町村圏事務組合議会10月定例会で、平成23年度決算が承認されました。

一般会計歳入総額35億9,872万円（前年度比1億659万円の減）、同歳出総額35億2,127万円（前年度比1億2,764万円の減）となっています。

歳出減額の主な要因は、し尿処理施設「もがみクリーンセンター」の建設時借入に係る償還金（借入金返済）が無くなったことなどにより公債費が9,248万円減額となり、団塊世代の大量退職などに伴う人件費等の減少で消防費も4,837万円減額になったことです。

一方、衛生費では維持補修費等の増加により、管理運営費がごみ焼却施設「エコプラザもがみ」は8,491万円、資源リサイクル施設「リサイクルプラザもがみ」では1,704万円の増加となりました。

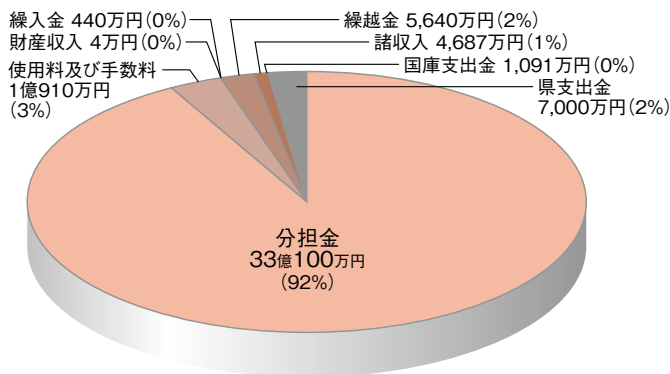
最上広域市町村圏事務組合は、最上8市町村の皆さんの生活に密着した消防、ごみ・し尿処理などの業務を効率的に進めることを目的として設立された団体です。今後も安全で安心して暮らせる地域づくりをめざし、事務事業の円滑な推進と経費の削減に努めていきます。

一般会計の主な事業費の決算状況

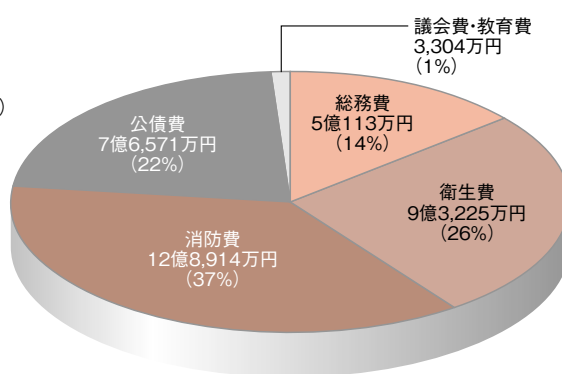
（単位：万円）

区 分	23年度決算	対前年増減
広域交流センター「ゆめりあ」管理運営費	7,594	198
エコプラザもがみ（ごみ焼却施設）管理運営費	55,345	8,491
リサイクルプラザもがみ（資源リサイクル施設）管理運営費	15,084	1,704
もがみクリーンセンター（し尿処理施設）管理運営費	18,306	△ 1,410
最上衛生事業所（し尿処理施設）管理運営費	4,041	△ 1,470
消防・救急業務運営費	128,914	△ 4,837
教育研究センター管理運営費	3,182	△ 178
公債費（借入金返済）	76,571	△ 9,248

一般会計歳入 35億9,872万円

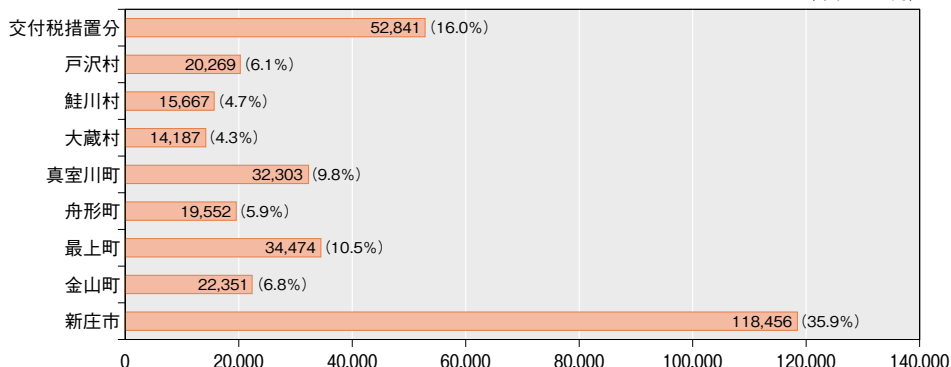


一般会計歳出 35億2,127万円



分担金 (33億100万円) の内訳

（単位：万円）



市のホームページを リニューアルしました

これまでより便利なホームページを目指して、トップページを中心にリニューアルを行いました。

▼URL: <http://www.city.shinjo.yamagata.jp/>に移動するとこのページが開きます



▲これまでと同じ感覚で情報へのアクセスが可能なページ「市政メインサイト」。各種ボタン(上図①)からページ移動できるほか、「各課ページ一覧」(②)からの移動も、担当部署が分かっている場合は便利です。また、これまで市報はページごとのPDFファイルを掲載していましたが、今後はデジタルブック化して掲載しています(③)。

市では平成12年に初めてホームページを開設し、平成19年に、情報量を増やすなど利便性を向上させたいという若手職員からの提案により、現在の形にリニューアルしました。

その後は掲載情報量も増え、アクセス数も増加しています。しかし、「分かりにくい」、「欲しい情報がない」などという意見を頂くこともあるため、今回トップページを中心としたリニューアルを行ったものです。

今後もより使いやすいホームページとなるよう工夫してまいります。ご意見やご要望などお持ちであればぜひお知らせください。

◎総務課秘書・行革広報室 ☎内線216
メール soumu@city.shinjo.yamagata.jp

▲新庄まつりやイベント、見どころなど、観光情報だけを取り上げたページ「新庄まつり・観光情報ポータル」。各種情報ページや関連ホームページへ移動するボタンが配置されている(上図⑤)ほか、フェイスブックでの情報発信状況も確認できます(同④)。

サイト内検索(キーワードで情報を探す)

知りたい情報について、関連する語句を入力し、ホームページ内でその語句が使用されているページを検索することができます。「検索について」では、検索のコツなども紹介しています。

いきいき 新庄人

一枚の写真から ペリアンに会いに

シャルロット・ペリアンと新庄展実行委員会
水越啓二さん(下西山)



雪の里情報館で、12月2日まで開催されている「シャルロット・ペリアンと新庄展」。この展示会は、一枚の写真をきっかけに、フランスにいるペリアン本人に会いに行った方々が見聞した、彼女と新庄の関わりに焦点をあてています。訪問団の一人で、今回の展示会の実行委員でもある水越啓二さんに彼女の思い出を伺いました。

『彼女が新庄に来たのが36才のとき、その折の一枚の写真を頼りに55年の時を超えてパリまで会いに行った自分たちを、恋心を抱く者とみてくれたのかもしれない。92才の彼女はにこやかに待っていてくれました。』

新庄に来た当時、彼女は「ミノ」を見て、「その技を使ってクッションや敷物にしたら?」と提案しました。「伝統をもとに創造を」と呼びかけたわけですね。彼女と実際に会って話をし、その提案には、新庄の農民の純粋さ、素朴さ、健康さをほめる意味もあったのだらうという気がしました。

帰り際、彼女が笑いながら「あなたがたは、まだ、だれも生まれていなかった」と言ったのが印象的でした」

[シャルロット・ペリアンと新庄]展

Charlotte Perriand et Shinjo

～雪の里情報館で12月2日(日)まで開催中!～

■展示説明会 11月25日(日) 午後1時30分～

■エコクラフトによるかご製作
ワークショップ

▶とき 12月2日(日) 午前10時30分～正午

▶参加費 1,000円

(材料代や「ペリアン展記念ランチ」
代金が含まれます)

▶申込締切

11月25日(日)まで。定員15人程度

◎詳しくは、雪の里情報館へ。

☎22-7891



無理をしない
我慢しない

省エネ



監修/栗田電気管理事務所

代表 栗田晃一氏

出典/(一財)省エネルギーセンター発行
「家庭の省エネ大事典 2011年版」

レッスン7

～石油ファンヒーターの 省エネ講座～

温度設定を21℃から20℃に!

■早めのOFFが決め手です!

消しても室温は急には下がりません。お出かけや就寝の15分くらい前に切るのがコツ。

■フィルター掃除で効率アップ!

ファンヒーターの性能を十分に発揮させるには、フィルターのお手入れが欠かせません。掃除機ではこりを吸い取ったり、ぬるま湯で洗ってからしっかり乾かしましょう。



☞省エネ効果をCHECK!

■外気温度6℃のとき、暖房の設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:1日9時間)

□年間で灯油10.22ℓの省エネ

約820円の節約

原油換算9.68ℓ CO₂削減量25.4kg

もっと省エネ!

寒いからといって、設定温度を上げる前に着るものを工夫しよう!!

■体感温度がこれだけアップ!!

カーディガン +2.2℃

ひざかけ +2.5℃



★目標★光熱費年間2万円削減!

今月の削減金額

¥820

今までの削減金額

¥15,670

た。苦さん関もすうに市消防団の団結が一層強いものになったように思います。選手はもとより、関係者の皆さん大変ご苦労様でした。



今回の出場を契機に、新庄市消防団の団結が一層強いものになったように思います。選手はもとより、関係者の皆さん大変ご苦労様でした。

新庄市消防団の選抜チームが小型ポンプ車の部に出場しました。新庄市の出場は今回が初めてですが、大変名誉なことですし、県内二十五市町村持ち回りであることを考えると、次の機会は相当遠い将来となるでしょう。各分団の協力のもと、五カ月に及び猛暑の中での訓練を行い、新庄市消防団挙げての大行事となりましたが、本番では訓練以上の出来栄に応援団からも大きな拍手が送られました。



日(日)東京臨海広域防災公園で、第二十三回全国消防操法大会が行われ、山形県代表として新庄市消防団の出場しました。

「第二十三回 全国消防操法大会」



山尾順紀



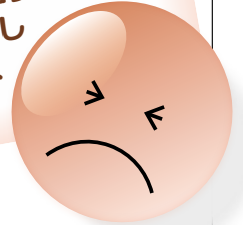
子育ての輪

2才頃の「イヤイヤ」時期について

わらすこ広場でも、「ギャーギャー」と泣いて訴えたり、おもちゃの取り合いで相手をたたいてしまったり、言うことを聞かない様子が見受けられます。周りの迷惑を考えて困ってしまうかもしれませんが、自我が芽生え、子どもが成長していく大事な一場面ですから、適切に対応しましょう。



「このごろ、しかつても言うことを聞きません。おもちゃの取り合いで相手をたたいたり、しかると大泣きしたりして困っています。だれもが通る道かもしないのですが、どうしたらよいのでしょうか？」



Q おもちゃの取り合いで困っています。取り合いになつて相手をたたいたり、どちらかが泣くまで続きます…

A 多くのお母さんは相手のお母さんに気を遣い、「貸してあげなさい」とか「何で人のものを取るの!」「たたいてダメ!」など自分の子をしかったり、我慢させようとします。

しかし、子どもには子どもなりの思いがあります。両方の子どもの気持ちを言葉に表して、

Q 気に入らないことがあると、ひっくり返つてわがままを通そうとします。あまりの聞きわけのなさ、つい手が出そうになつてしまいます…

A いくら言つてもわかつてくれない我が子を前にして、周囲の視線などあればなおさら、カッとなることもあるでしょう。でも幼くても、「これだけは困る」「してほしくない」とあなたが思うことは、しっかりと言葉で伝えることが大切です。子どもは怒つて、泣く、わめくなど、あらゆる手を使つてきますが、気がすんで落ち着くまで待ちましょう。

子どもは泣くことで悔しさや悲しさを表現しているのです。「泣いてもいいよ」とやさしく体をさすったりしながら、好きなだけ泣かせてあげましょう。

あそびの広場と子育て相談

- 保健センター／11月27日(火)・12月11日(火)
午前・午後
- わくわく新庄／12月4日(火)・18日(火)午前
- 萩野地区公民館／12月6日(木)午前
※午前＝10時～11時30分
午後＝1時30分～3時30分
- わらすこ広場／水曜日と元日を除く毎日
午前10時～午後6時

わらすこ ワンダーランド開催!

- とき 11月17日(土)
午前10時～
- ところ わらすこ広場
(こらっせ新庄4階)
- 内容
保育園児のステージ発表や
読み聞かせ、マジックショーなど

入場
無料

共感してあげることが大切です。気持ちをくんであげれば、子どもは満足します。両方の子どもの「言葉にならない思い」を受け止めてあげましょう。それでも治まらない場合は、あなたがその場を離れて気分を変えてみるのも一つの方法です。この時期の子どもは、何でもひとりでやりたがる時期でもあるからです。

◎詳しくは、新庄市子育て支援センター(わらすこ広場内)へ。TEL & FAX 22-5115

小ネタで ふるさとめぐり

第8回 西山の丘



けいぐくじ
桂嶽寺

下西山桂嶽寺の隣に、「西山の丘」と命名された先人顕彰公園があり、そこに小磯国昭之墓、堤林数衛翁像、安嶋直門顕彰碑がある。

小磯国昭は本市出身の総理大臣だが、戦後にA級戦犯として終身刑になり、服役中の昭和二十五年十一月に病死した。遺骨が桂嶽寺の隅でほこりを被っているのを見た、その当時の藤田観光社長が文芸春秋にその有様を書いたのをきっかけに募金運動が起こり、歌手の藤原義江(藤原歌劇団創始者)など多くの人の協力により墓が建てられた。この場所は小磯家菩提寺の西中寺庫裡跡だったため、建設地として選定されたようだ。

向かって左隣に建つ堤林数衛翁像は、南洋同人会・ジャカルタ友の会・日本インドネシア協会が中心となつて設置したものだ。堤林は、明治末から大正にかけて、対インドネシア貿易で先駆的な役割を果たした大人物で、インドネシア各地に四十か所の営業所を持つ南洋商会を設立し、全国から有為の青年を募り、多くの人材を育成した。その教えを受けた人たちがその功

今月の本

11月のおすすめ

『幸福な田舎のつくりかた ～地域の誇りが人をつなぎ、 小さな経済を動かす～』

金丸 弘美／著

風土を誇りに食の都・映画の都を目指す山形県鶴岡市、まちのファンを増やす観光特使が活躍する高知県おもてなし課など、地方を元気にするトップランナーを多数紹介。地方の未来は逆転できる!

今月のテーマ展示 『図書館を知ろう』

10月27日～11月9日は秋の読書週間です。図書館に来たことのない方も、身近に感じている方も、「あの本を読みたい!」と思ったらぜひ図書館へ。本の並べ方や探し方が分かるコーナー、図書館豆知識の本などを紹介します。

●児童図書●

おおあたりい〜村 上しいこ
もりのだるまさんかぞく高橋 和枝
うれしいさんかなしいさんまつおか きょうこ
ムーミンとほしにねがいをかけよう〜あなあきしか
けえほん〜トーベ・ヤンソン
月の満ちかけ絵本大枝 史郎
K町の奇妙なおとなたち斉藤 洋
現代語で読む野菊の墓伊藤左千夫
てんやわんや名探偵杉山 亮
マドレーヌは小さな名コック
.....ルパート・キングフィッシャー

●一般図書●

永松物語 銅山への鎮魂賦
.....大友 義助(新庄市在住)
森のゆりかご 続...柿崎 ヤス子(真室川町在住)
完訳日本奥地紀行 2 新潟〜山形〜秋田〜青森
.....イザベラ・バード
高野優の思春期ブギ高野 優
発達障害の子を育てる本 ケータイ・パソコン活用編
.....講談社
おひとりさま、犬をかう折原 みと
きょうの猫村さん 6ほし よりこ
仙台とっておきの雑貨屋さんグレートーン
いも・くり・かぼちゃのスイーツ 改訂版...信太 康代
若桜鉄道うぐいす駅門井 慶喜
つむじダブル小路 幸也
生きるばくら原田 マハ
三国志 第11巻宮城谷昌光
マルタの鷹 改訂決定版ダシール・ハメット
ソクラテスの弁明(光文社古典新訳文庫)
.....プラトン

■開館時間:午前10時～午後6時
■休館日:毎週月曜日
◎市立図書館 ☎22-2189



蔵書検索



このコーナーでは、NPOなどの市民活動団体に関する話題と、地域住民による地域づくり活動に関する話題をそれぞれ交互に紹介していきます。

☐活動団体編 ☒地域づくり編

金沢地域連合町内会

金沢一から七と幸町、金沢新町、玉の木町、および玉の木新町の11地区は、これまでも消防団活動を通じたつながりがありましたが、地域の発展を目的に「金沢地域連合町内会」を立ち上げました。そして連合町内会事業として、「寺子屋方式『金沢塾』」を開塾、それを記念する講演会を10月14日(日)に開催しました。地域に残る、建物・行事・風景・人材などの「宝」の発見とその継承を通し、人と人との絆を見つめ直し、強くしていくことで地域の活性化をめざすものです。

当日は約七十人の地区住民の参加のもと、郷土史研究家の大友義助氏と新庄東山焼の五代目涌井弥瓶氏による講演、地区内の家庭に眠っていた六十点もの貴重な写真などの展示が、わくわく新庄を会場に行われました。

金沢塾開塾記念講演

大友氏による金沢地域の成り立ちから、街並み、そして守るべき金沢の宝(文化財など)などを含めた金沢の歴史について、また涌井氏による新庄東山焼が誕生した経緯やこれまでの歴史についての講話でした。資料も多数準備いただき、参加者はとても興味を引かれていました。講演終了後も、資料を見せてもらったり参加者同士で話に花が咲くなど、大変盛況な講演会となりました。



金沢今昔写真展

各家庭などが所有する、昔の金沢通りや現存する昔の建物、山車などの貴重な写真・資料が展示されました。先人が築いた金沢を垣間見ながら、当時を振り返る話が盛り上がっていたほか、「探せばもっとありそう」、「民具も展示しては」など、次につながる声も聞かれました。



◎総合政策課地域支援室 ☎内線218

右隣の顕彰碑の安嶋直円は、関流中興の祖といわれる和算(数学)の大家で、生涯江戸詰であったために墓は東京三田常林寺にあるが、その墓が、東京都指定旧跡になっているほど歴史上著名な人物だ。日食や月食の計算法を編み出したことなどから、名前の「ナオノブ」は月のクレーター名の一つになっている。顕彰碑は、平成十年に没後二百年を記念して建てられた。また、分骨された墓が、桂嶽寺の安嶋家墓地にある。

「西山の丘」とは違うが、折下吉延は公益財団法人都市計画協会の公園緑地折下功労賞に、名誉市民の二人は、最上育英会の平塚英吉賞、最上児童展の近岡善次郎賞にその名を留めている。先人に学ぶため、まだまだ多くいる偉人の名を将来に残していきたいものだ。

■第50回新庄ロードレース大会(10月7日／市陸上競技場周辺)



新庄・最上地域の小学生から社会人まで360人が参加して、第50回新庄ロードレース大会が開催されました。陸上競技場をスタートし、公道を走るこのレースでは、沿道からの大きな声援を受けながら、選手たちは力を発揮し精一杯の走りを見せました。

■みちのく民話まつり秋語り(10月20日／旧矢作家住宅)



旧矢作家住宅を会場に、27回目となる「みちのく民話まつり秋語り」が開催されました。囲炉裏端で、民話の会会員らが表現豊かに民話を語り始めると、集まった観客は、民話の世界に入り込んだような会場の雰囲気と語りに魅了されました。

■商店街でハロウィーンウォーキング(10月27日／中心商店街)



ハロウィーンの時期に合わせたウォークラリー「ハロウィーンウォーキング」が、新庄TCMの主催により開催されました。参加者は、指定店を時間内に回りお菓子などをもらいます。中には、ハロウィーンにちなんだ仮装で参加する子どももいて、思い思いに商店街巡りを楽しみました。



■快晴の中「第20回クリテルウム新庄大会」開催! (10月8日／新庄中核工業団地)

昨年から、秋のこの時期に開催しているクリテルウム大会。競技には、県内外の8歳から72歳までの185人が参加しました。

中には転倒する参加者もいましたが、爽やかな秋晴れのもと、中核工業団地内に設けられた特設コースを周回し、スピードを競い合いました。

■新庄市消防団代表が全国消防操法大会に出場 (10月7日／東京臨海広域防災公園)

全国消防団員の技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、毎年開催されている「全国消防操法大会」。10月7日に行われたこの大会に、山形県を代表して新庄市消防団の選抜チームが出場しました。本番に向け5月から練習を重ねてきた選手たちは、新庄から駆け付けた応援団の声援にも後押しされ、精一杯の操法を披露しました。



ましかど しんじょう

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS



■沼田小児童と北辰小児童が英語で交流(10月4日／沼田小学校)

同じ明倫中学校で学ぶことになる両校はさまざまな形で交流しています。今回は、5年生児童が日ごろの英語学習の成果を発揮できるよう、英語での交流学习を実施しました。ゲーム形式を取り入れた内容に、児童たちも徐々に打ち解け笑顔で会話が弾んでいました。



■「2012新庄いものこマラソン&健康ウォーキング」でスポーツと食欲の秋を満喫

(10月14日／山屋セミナーハウス周辺)

16回目となる「いものこマラソン&健康ウォーキング」が、会場を山屋セミナーハウス周辺に変え行われました。健康増進を目的に実施され、ゴールした人には完走証・完歩証が交付されます。今大会から新たに11kmを走るチャレンジマラソンの部も設けられ、全コース合わせて362人が参加しました。終了後には、参加者にいものこ汁が振る舞われました。



■満100歳のお祝いで長南ミユキさん(松本)に賀詞と記念品を贈呈(10月24日)



■市総合防災訓練を実施

(10月21日／山屋地区)

新庄盆地断層帯を震源とする震度6強の直下型地震が発生したという想定で、山屋地区を会場に市防災総合訓練が行われました。大地震に備えて、参加した地区住民や消防団員らが、避難訓練や初期消火訓練などに真剣に取り組みました。



■山形県社会教育研究大会を新庄で開催

(10月26日／市民文化会館ほか)

社会教育の振興と発展を目的に県内各地から関係者が参加し、「第3回山形県社会教育研究大会」が開催されました。開会行事で功労者表彰を行った後、アトラクションとして「仁田山鹿子踊」が披露されました。続いて記念講演に山形市出身の女優・渡辺えりさんが登場。山形弁を交えながらふるさとや平和への思いなどを語りました。



3



2



1

1 昭和小学校敷地内実習田で5・6年児童が稲刈り体験(10月10日／昭和小学校)

2 もがみ大産業まつり

(10月14日／新庄駅東口周辺)

3 第67回県美展・第54回こども県展新庄巡回展開催

(10月31日～11月5日／市民プラザ)

11月のおしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

融雪工事に補助金!

リフォーム補助金の対象工事として、屋根融雪やロードヒーティングなどの住宅の「克雪化」工事も対象となりました。ぜひご利用ください。

◎詳しくは、都市整備課建築住宅室へ。☎内線523

建物を新築・増築・取り壊していませんか

建物(車庫・物置などを含む)の新築・増築・取り壊しをした、または予定している方は税務課までお知らせください。適正な課税のため、日程調整のうえ、現地調査させていただきます。

◎詳しくは、税務課資産税室へ。☎内線144・145

新庄市職員採用試験

試験区分	職務内容	採用予定
初級土木	土木行政に関する業務、工事の設計・監督、施設の維持管理等	若干名

●**受験資格** ①生年月日/平成3年4月2日～平成7年4月1日 ※平成24年度中に大学を卒業見込みの人は受験できません。
②住所要件/採用後、市内に居住する見込みのある人 ●**試験内容** 1次試験/教養試験(高校卒業程度)、専門試験(初級土木)、職場適応性検査、2次試験/作文試験、人物試験 ●**受付期間** 11月26日(月)まで必着 ●**受験申込用紙** 市役所総務課(2階)で交付します。郵便で請求する場合は、「受験申込書請求」と朱書きし、120円切手をはったあて先明記の返信用封筒(角形2号)を同封のうえ、〒996-8501新庄市沖の町10番37号 新庄市総務課まで。受験申込用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

●**1次試験** 12月9日(日)/新庄市役所
●**合格者の発表** 1次試験=12月下旬(予定)
◎詳しくは、総務課職員・法令文書室へ。☎内線220・230

秋はほっこり屋内で
11月のキトキトマルシェ

▼とき 11月25日(日)午前10時～午後3時
▼ところ エコロジージャーデン
▼内容 手づくり雑貨、農産物販売、各種ワークショップなど
※kitokioMARCHEの出店要領などはホームページ(kitokio.tumblr.com/)をご覧ください。
◎商工観光課観光交流室 ☎内線251

ひびくカフェin
キトキトマルシェ

▼とき 11月25日(日)①午前10時～正午②午後1時～3時
▼ところ エコロジージャーデン
▼内容 あみ花コサージュづくり
▼参加費 1,500円
▼定員 午前午後各10人
◎新庄ひびくネットワーク・伊藤 ☎080-1663-72883
(午後3時～午後8時)

新庄東高等学校から
お知らせ

第13回みつばちフォーラム
生徒や保護者、地域の方が教育をテーマに意見を交わします
▼とき 11月17日(土)午前9時30分～11時30分
▼ところ 新庄東高等学校
大学進学について学ぶ会
▼対象 中学生やその保護者
▼とき 11月17日(土)午後1時～
▼ところ 新庄東高等学校
▼内容 講演会「大学進学を考える中学生・保護者へ」なぜ大学に行つて学ぶのか
▼入場料 無料
※先着50人。希望者は事前にお申し込みください。
◎新庄東高等学校 ☎22-1562

大宮造監督作品「季節、めいど
それぞれの居場所」上映
介護について考えてみませんか。
☎0233-6300-30081

▼とき 12月12日(水)午後6時30分～
▼ところ 市民プラザ大ホール
▼前売券 500円(山形新聞新庄専売所、オープンハウスこんべいとう、ほし薬局で取扱中)
◎山形新聞新庄専売所・庄司 ☎22-3155

山形空港の運航
ダイヤが変わりました
10月28日(日)に東京便と大阪便のダイヤが変更されました。
山形→東京(羽田) 12:00発・13:35着
東京(羽田)→山形 14:35発・15:35着
山形→大阪(伊丹) ①9:05発・10:30着 ②16:00発・17:25着 ③18:00発・19:25着
大阪(伊丹)→山形 ①17:20発・8:35着 ②11:05発・12:20着 ③16:15発・17:30着
◎県交通政策課 ☎0233-6300-30081

地域の交流を実施しつつ
団体を支援します

地域公民館などを活用して定期的に地域の子どもや保護者、また高齢者を対象に、遊びなどを通した交流の場を提供している団体などに対して、経費の部を補助します。

▼**申込期限** 11月21日(水)
◎福祉事務所児童福祉室 ☎内線545

山形県民シンポジウム
in 最上

▼とき 11月27日(火)午後2時30分～
▼ところ メモリアルプラザ大地会館
▼内容 高橋幸司氏の基調講演「活力ある人材育成と地域の活性化」観光を題材として、パネルディスカッション ※終了後に交流会を行います(会費4,000円)
◎山形大学渉外部渉外課 ☎0233-628-4841

油断大敵
～油の流出事故にご注意ください～

事故を防ぐために
○その場を離れない
○目を離さない
○配管の場所には目印を
○定期点検を怠らない
※事故がおきたら市役所、消防署、警察署などに連絡を!
◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線432

こらっせ新庄2階

ご見学随時受付中
お気軽にお立ち寄りください



この場所でこれからも
サービス付き高齢者向け住宅

日和式番館

サービス付き高齢者向け住宅

日 和 式 番 館

高齢者向けの専用住宅です

デイサロン 日 和

毎日楽しく過ごせる集いの場です

お問い合わせやご入居・ご利用相談は...☎0233-32-0565 担当:三原・安彦まで。

ホームヘルプサービス日和

在宅での生活をサポートいたします

居宅介護支援センター日和

安心して介護が受けられるよう
ご支援いたします

災害支援ネットワーク47による 震災を「語る会-聞か会」

○11月22日(木)午後6時～
○レキシントン新庄(信金文化ホール)
○市民活動交流広場らっと ☎23-6211

11月は「児童虐待防止推進月間」

～気づくのはあなたと地域の心の目～
子育てや子どもに関する悩みなど、気軽に
にご相談ください。

○福祉事務所児童支援室 ☎内線547
○子育て支援センター ☎22-5115

イタリア料理教室開催

○11月17日(土)午後4時～
○市民プラザ調理室
○材料費2,500円 ○講師 笹美知子さん
○申し込み 11月15日(木)まで電話で
○事務局・笹 ☎22-2086

催しなど

雪の里情報館からお知らせ

寺内恵一作品展

- とき 11月30日(金)まで
- ところ 雪の里情報館雪国ギャラリー
- 内容 つる細工(装飾品)の展示

第66回市民雪セミナー

「雪害の現場から学ぶ雪対策」

- とき 11月25日(日)午後2時～3時30分
 - ところ 雪の里情報館2階雪国文化ホール
 - 内容 阿部修氏(防災科学研究所雪水防災研究センター新庄支所長)による講話。雪害防止について学ぶほか、ダイヤモンドダストや雲の発生などを観察します。
- 詳しくは、雪の里情報館へ。☎22-7891

お正月リース手作り教室開催

- とき 12月15日(土)午前10時～正午
 - ところ わくわく新庄 ●内容 自然素材を使ったリースづくり ●講師 鈴木信夫さん(木ら木星) ●材料費 1,500円
 - 申し込み 12月8日(土)まで。先着20人
- 詳しくは、わくわく新庄へ。☎23-0197

男の料理教室開催

- 対象 成人男性(定員16人) ●とき 11月18日(日)午前10時～午後1時 ●ところ 市民プラザ調理実習室 ●内容 イタリア料理
 - 参加費 1,000円 ●持ち物 エプロン、三角巾(手ぬぐい) ※申し込みが必要
- 詳しくは、市民プラザへ。☎22-4200

第69回新庄親と子のよい映画をみる会 「おかみこどもの雨と雪」上映会

- とき 11月26日(月)①午後3時～②午後7時～(上映時間2時間) ●ところ 市民文化会館大ホール ●前売り券 一般1,300円、3歳～中学生800円(文化会館、市民プラザ、もがみ物産館などで発売中)
 - ※1回のみ有料託児あり(託児ルームHUGに要予約。一人につき400円 ☎090-2028-9465)
- 詳しくは、新庄親と子のよい映画をみる会・石田へ。☎22-6155

最上伝承野菜フォーラム2012

- とき 11月18日(日)午前11時～午後3時
- ところ ニューグランドホテル新庄4階「サンローゼ」 ●内容 「見て、食べて、学ぶ!最上伝承野菜」をテーマとした講演やパネルディスカッション、試食や販売など
- 参加無料。詳しくは、最上総合支庁農村計画課へ。☎29-1342

犯罪被害者支援 県民のついで2012

▼とき 11月16日(金)午後1時
30分～午後4時 ▼ところ ビッ
グウイング(山形市)

▼内容 講演「ある日突然最愛
の娘を奪われて」など

◎やまがた被害者支援センター
☎023-642-3571

助産師による 妊娠・出産無料相談

▼とき 毎月第2火曜日

▼ところ 市保健センター

◎NPO法人オーブンハウスこん
べいとう
☎29-2301

エイズ臨時無料相談開催

▼とき 12月1日(土)午前9時～
午後5時 ▼ところ 最上保健所

(県最上総合支庁内)
▼内容 匿名・無料での血液検

査や保健師による相談(検査

時間30分～1時間)

※毎週火曜日午前9時～11時
にも実施しています。

◎最上保健所 ☎29-1268

相続登記はお早めに

相続登記はいつまでにしなけ
ればならないという期限はあ
りませんが、そのままにしてお
くと相続人にさらに相続人が
発生するなど手続きが複雑に
なる場合もありますので、でき
るだけ早く済ませることをお
勧めします。

◎法務局新庄支局 ☎22-7528

自衛官等募集

①応募資格②受付期間③試験日
自衛官候補生 ①18才以上27
才未満の男子 ②12月7日(金)
まで ③12月15日(土)か16日(日)の

いずれかを指定します。

陸上自衛隊高等工科学校生徒

①平成8年4月2日～平成10
年4月1日生まれの男子 ②

平成25年1月7日(月)まで ③

平成25年1月19日(土)

採用制度説明会 11月25日(日)

午後1時～7時/ゆめりあ

◎自衛隊新庄地域事務所

☎22-5057

免除・猶予等を受けた国民 年金保険料は追納できます

保険料の免除や若年者納付
猶予、学生納付特例の承認を
受けた期間は、納付した場合
と比べて年金受取額が減額さ
れます。免除などを受けてか
ら十年以内であれば、その保
料を納めること(追納)ができ、
追納した分だけ年金受取額も
増えます。ただし、免除などの
承認を受けた翌年度から起算
して三年目以降は追納額に加

知っていますか? 米トレーサビリティ法

問題が発生したときなど、流
通ルートを速やかに特定するた
め、取り引きなどの記録を作成
して保存すること、また産地情
報を取り引き先や消費者に伝
達することを義務付けるもので
米や米加工品の販売、輸入、加
工、製造または提供の事業を行
うすべての事業者(生産者も含
む)が対象となっています。

◎東北農政局酒田地域センター
☎0234-3317253

うめ本
さん

ボディコンディショニングスペース

未広公園

1 Laught
さん

一方通行

至新庄駅

新庄市末広町14-62コーポ藤1-D
受付時間 9:00～19:00(火曜定休)

お問い合わせ、ご予約は TEL 0233-32-0663 代表 海藤直子

ヤマハ レッスン見学会実施中!

④ 英語教室 11月の予定 ⑤ 音楽教室

対 象	コ ー ス	ク ラ ス	レ ッ ス ン 日	対 象	コ ー ス	ク ラ ス	レ ッ ス ン 日
年 少 児	ポプコーンーク	⑤ 10:00	17・24	1歳	おとのおもちゃば	⑤ 10:30	20
小学5・6年	英語基礎	⑤ 16:00	17・24	2歳	赤りんご	⑤ 11:00	16
				年少児	おんがくなかよし	⑤ 16:00	14・21
						⑤ 11:10	17・24

バイオリン・ピアノ
個人レッスン随時入会受付中

Tazawa音楽センター ☎22-2757



佐吉爺に聞く

昔からの訓え

新庄の言い伝え

新庄には、今でも多くの言い伝えが残っています。
「言い伝え」は、日常生活の中で綿々と伝えられてきた、
先人の生活の知恵。今も残るさまざまな「言い伝え」を、
季節の行事とともに佐吉爺が紹介します。 文：伊藤佐吉さん(仁田山)

其の式

「農家の晩秋」の巻

十一月は霜月である。朝晩が寒くなり、
神室山の峰も白くなる。東の山に三回雪
が降ると里にも降ると、誰かが言った。旧
暦十月の言い伝え「霜月 小春晴れの日
が来る」、昔の豆ぶつ(打ち)空である。

農家の晩秋は忙しい。農村には昔なが
らの伝統行事や、迷信と言われるような
社会慣習が多く伝承されていた。時代が、
教育が変わり、次々と消えてゆく。昔か
らの農作業の節目にまつわる祭りも精神
も忘れ、田も減反政策になり米も少な
くなり、農氏の意欲も少なくなった。三
日は文化の日、立冬も近づき寒さも一
段と厳しくなる。十五日は七五三の祝
い、二十一日は小雪、二十三日は戦前は
新嘗祭の祝日で、天皇陛下が新穀を神に
お供えして感謝をし、自分も食べる日で、
家々では日の丸の旗をたて、学校も休み
であった。

旧暦の十月十日は、大根年とり日と
言った。大根が太くなる音がする。この日、
大根を抜いたり、畑に入つてはいけない。座
土神様がいらそう。爺の家では、毎年
十日を過ぎてから採る。

「秋ナスを嫁さ食わせんな」秋にな
るとナスの甘みも増すから昔の悪口の諺と
言われたが、アクが強いから身持ちの(妊
娠している)嫁が食べると体に良くないとい
う意味もあるようだ。

立冬に朝から雲つない晴天は、「今日
は霜荒れが来るぞ」と老人たちが言った。
「ミノと笠はてんで持つ」と言った。夕暮
れに嵐が来る、外で働く時にいつも一人
人ミノと笠を手を持つ。昔は労働用具で
あった。

十一月は大根、白菜と畑の作物を取り、
昔はいぶす(いぶし)大根をたくさん作つ
た。赤頭か赤筋の大根を、何百本も縄で
編んで家の囲炉裏近くに吊るす。囲炉裏
で一日中火をたいてるので、十二月大掃
除(ススハキ)まで吊るすと、黒い良い燻製
大根ができた。農家は大根、白菜、カブ、
青菜など冬に食べる漬物を二斗、三斗桶
に漬け込んだ。爺が小さい頃「へやミ漬
け」というのがあった。小さいカブを葉ごと
細かく刻んで塩漬けにした。葉漬けとも
言つて、冬の朝はこれを鍋に入れてお汁の
実にした。大根を鉋で切り、米麴に漬け
たのが甘みも歯ざわりもあつてうまかつ
た。今は手作りより、店に行くと何でも
買つて食べられる時代になった。

へ秋雨が静々と降る霜月夜
寝顔冷たく 朝雪の空



▲以前は佐吉爺の家でも、いぶす大根を作るた
め、孫も手伝って何百本もの収穫した大根を洗
っていた。(平成元年11月下旬撮影)

表紙の写真

新庄の“んめもの”が大集合! ～第5回新庄味覚まつり～

「第5回新庄味覚まつり」が、10月20
日(土)中心商店街を会場に開催されまし
た。開会式では、新庄チンドン団の「新庄
味覚まつり音頭」に合わせ、金沢幼稚園
園児も元気なかけ声と振り付けを披露しま
した。会場には、新庄の“んめもの”を中
心に、友好都市・茨城県高萩市による牛串
焼きなども登場。天候にも恵まれ、多くの
方が新庄の味覚を堪能しました。



9 月末現在の新庄人

38,598人(39,076人)

女	20,317人(20,532人)
男	18,281人(18,544人)
世帯数	13,744世帯(13,717世帯)

9月の異動

出生	22人 (23人)
死亡	43人 (46人)
転入	110人 (101人)
転出	73人 (79人)

※()は1年前の日本人+外国人の数です。7月より住民基
本台帳法の改正で外国人を含む人口集計になりました。



環境にやさしい植物油インキを
使用しています